

令和6年度

浜松市立和田小学校 第2回 学校運営協議会



令和6年9月13日(金)
13時30分～15時30分
視聴覚室にて

〈本日の日程〉

13:30～14:00 授業参観 ※ 御自由に御参観ください。

14:10～15:30 学校運営協議会

学校運営協議会 次 第

※ 開催要件確認(委員の過半数の出席が必要です。)

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出

4 前回会議録確認

5 熟議

(1) 授業についての意見交換

(2) 今後の学校運営について

～1学期教育課程アンケート結果をもとに～

6 その他

・学校支援活動について

・情報交換 等

7 連絡

○ 第3回運営協議会 11月20日(水)

令和6年度 浜松市立和田小学校 学校運営協議会 委員

五十音順

氏名	ふりがな	肩書等	住所
安藤 小ゆり	あんどう さゆり	主任児童委員	和田町
神谷 みち子	かみや みちこ	元小学校長 学校支援コーディネーター	篠ヶ瀬町
齋藤 博	さいとう ひろし	元自治会長	薬師町
鈴木 滋芳	すずき しげよし	自治会長	篠ヶ瀬町
早川 智美	はやかわ ともみ	前PTA副会長	北島町
林 實	はやし みのる	地域安全推進委員 元自治会長	北島町
箕浦 利弘	みのうら としひろ	民生委員	北島町
山内 慶一	やまうち けいいち	R4PTA会長	薬師町

CSディレクター 小粥万祐子（おがい まゆこ）

学校職員

校 長 横井 靖二（よこい やすじ）

教 頭 岡本 綾子（おかもと あやこ）

主幹教諭 中西 伸 （なかにし しん） ※CS担当職員

令和6年度 第1回学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月10日（金）14時10分から16時まで
- 2 開催場所 和田小学校 視聴覚室
- 3 出席委員 安藤 さゆり、神谷 みち子、齋藤 博、鈴木 滋芳、林 實、
箕浦 利弘、山内 慶一
- 4 欠席委員 早川 智美
- 5 オブザーバー 西澤 幸次朗
- 6 学 校 横井 靖二（校長）、岡本 綾子（教頭）、中西 伸（主幹教諭）
伊藤 裕美（CSディレクター）

7 傍聴者 なし

8 会議録作成者 CSディレクター 伊藤 裕美

9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、齋藤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された齋藤委員から、山内委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、安藤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 授業についての意見交換
- (2) 学校経営構想の詳細について
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

12 会議記録

司会の岡本教頭より、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。その後、教頭より「浜松市学校運営協議会規則」の確認があった。

(1) 授業についての意見交換

会議前に授業参観を行い、それについて意見交換した。

- ・新年度が始まって1か月経ったが、1年生は活気があって楽しそうだった。高学年は落ち着いていて、全体的にスムーズなスタートがきれていると感じた。（山内委員）
- ・低学年は授業に集中できていないかなという子も見られた。図書室の雰囲気が良かった。本の所蔵数も多く、日頃から本に親しむ事は大切だと感じており、たくさんの子供たちが図書室で読書している姿は、頼もしく感じた。（齋藤委員）

- ・ 3年生の教室で、活発な意見交換をしていた。色々な子供がいる中で、上手に子供たちをまとめていて、雰囲気良く授業が進んでいると感じた。(鈴木委員)
- ・ 同じ単元の授業もクラスによって進め方が様々で、コミュニケーション能力を育みながら、めあてに沿って授業が進められていると思った。(林委員)
- ・ 4月に1年生の給食の配膳をサポートするボランティアをしたが、その時と比べて、子供たちの動きが成長していて感心した。(神谷委員)
- ・ 6年生の図工で、実際の空を見ず、タブレットを見ながら空の絵を描いているのを見て驚いた。3年生の教室の黒板に子供の良さを認める工夫がされていて、教員の思いが伝わってきて良かった。(安藤委員)

(2) 学校経営構想の詳細について

校長から令和6年度学校経営構想について説明があり、保護者向けに撮影された説明動画を視聴した。その後、各部担当教諭から詳細の説明があり、それについて次の意見が出た。

- ・ 「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」(中央教育委審議会答申)で示された「個別最適な学びと協働的な学び」をどのように教育課程の中に組み込んでいるかを知りたい。(林委員)
⇒算数の授業を例にすると、一人一人がまず問題を解き、答えを導いた過程をクラス全体で意見交換する。その後それぞれの理解に応じて、教員がヒントを出してサポートしたり、発展問題に取り組んだりそれぞれのゴールを設定し、一歩先へと進めるように取り組んでいる。教科ごとにどのような指導が良いか、教員一人一人が模索しながら進めている。(校長)
- ・ 子供たち一人一人のレベルは違ってもそれぞれが自己有用感を高められるような教育活動をして欲しい。(鈴木委員)
- ・ いじめの実態について、昨年度の対策の結果はどうなっているのか。(齋藤委員)
⇒昨年度1、2学期に発生した件で、解決しているものもある。ただ、双方が納得してからも、引き続き最低3か月は見守るようにしていて、またその期間以降も見守りが必要になることもあるため、未解決としているものもある。解決の仕方についてはこれまでの対応を振り返り、反省、改善して進めていきたい。(校長)
- ・ いじめゼロを目指すことによって、子供同士のトラブルの全てを抑えつけようとする、子供の心が委縮したり、大人の顔をうかがったりするようになったりしてしまわないか心配である。被害者だけでなく加害者のフォローも必要だと感じている。(安藤委員)

- ・ 貧困家庭が増えてきている中で、誰かが寄り添ってくれていると子供に感じさせてあげることが大切だと感じている。保護者、地域、学校が連携して子供たちを見守っていきたい。
(箕浦委員)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

司会の岡本教頭から、夢育やらまいか事業の説明と、今年度予算書の説明があり、全員意義なくこれを承認した。(別紙参照)

(4) その他

◎ボランティアについて

- ・ 4月に1年生の下校指導のボランティアをした。自宅の遠い児童の保護者から、不安の声が届いていた為、ボランティアが同行することを保護者にも周知しておけば良かった。ボランティアの際、目印となる名札があると良いと思った。
(神谷委員)

◎学校運営協議会の今年度の目標について

令和6年度学校運営協議会の目標は、「地域や各組織との連携を深めるためには、学校運営協議会の周知を図る必要がある。そのために、協議会の開催方法や情報発信の仕方を工夫する。」とした。

◎諸連絡

次回の学校運営協議会は9月17日に開催するとの報告があった。

以上

5 熟議

(2) 今後の学校運営について ～I学期教育課程アンケート結果をもとに～

① 全体を通して（意見交換）

② 検討課題「災害時の対応」について

○ 引き渡しの方法について ～河川増水による避難情報の発令に対応して～

○ 地域との連携について ～南海トラフ地震への備え～